

株式会社ジェイコム東葛葛飾では、番組審議委員による 2014 年度放送番組審議会を開催し、自主制作番組について多岐に亘り審議していただきました。この審議内容を踏まえ、地域の皆様に親しまれ信頼を得られるよう、よりよい番組づくり・番組の適正化に努めてまいります。

2014 年度番組審議会

●日時 2014 年 3 月 24 日（火） 午前 11 時 00 分から午後 1 時 30 分

●場所 株式会社ジェイコム東葛葛飾 会議室

●出席者

<番組審議委員>

委員長 薄葉 博司

副委員長 三矢 慶三

委員 石川 章治

長田 宏

堤 淳子

橋本 裕子

松島 英雄

<株式会社ジェイコム東葛葛飾>

西森 英樹 （代表取締役社長）

湯沢 光一郎（取締役 兼 企画制作部長）

伊澤 和紀（企画・制作部 アシスタントマネージャー）

稲木 勝己（企画・制作部）

高田 裕一（企画・制作部）

梶間 亨（企画・制作部）

<株式会社ジュピターテレコム>

日沖 英明（千葉ブロック統括部長）

<事務局>

塩見 英輝（企画・制作部 アシスタントマネージャー）

●主な発言

【編成全般】

- ・各番組ともに良くできている。
- ・葛飾区とJ：COMの関係性がよい、行政はもちろんだが、地域メディアとの連携を強化してほしい。
- ・行政と市民との「協働」をNEWSにして、地域の活性化に寄与してほしい。
- ・「防災」は市民の関心が高く、そうした情報が参考になる。
- ・これまでより、企画力が上がり、番組の質が良くなった。
- ・J：COMになって規模が大きくなり、他の地域の情報が見られるのが良い。
- ・J：COMになっても、地域密着が伝わってきてよい。
- ・番組ラインナップのバランスが良い。
- ・近年、地域では「認知症」の増加に伴い、懸案事項となっている。
認知症徘徊に関する取組を地域レベルに落とし込んだ視点で、行政を巻き込み情報発信してほしい。
- ・以前より、地元の情報が少なくなった感じがするという意見を聞く。J：COMから情報を拾い上げる努力をしてほしい。
- ・地域の歴史や物語を毎日、連続して見られるとよいと思う。
- ・地域の人が集まる、また地域の和が出来る、地域活性化のコミュニティ作りの情報を発信してほしい。

【デイリーニュース】

- ・他の地域の情報もNEWSとして放送してほしい。
- ・放送されるNEWSが、主催者の意図をくみ取った、連携の取れたものとなっている。
- ・犯罪情報が良い、今後も継続を期待する
- ・スタジオのセットが広々とした感じに変更され良くなった
- ・犯罪情報の地図が小さくてわからない。また、文字の色が濃すぎる。
- ・感染症情報のNEWSをもっと市民に分かりやすい内容にしてほしい。
- ・葛飾エリアと、東葛エリアのNEWS番組のオープニング映像が同じで分かりにくい。
もっと、地域性を出した映像を活用してはどうか。
- ・感染症情報は、発生している地域をピンポイントで紹介しては？

【あの店この店】

- ・紹介されたお店に出向くが、数件対応の良くないお店があった、お店の選定に気を付けてほしい。

【防災広報葛飾】

- ・災害はいつ発生するかわからない、天候等、さまざまな状況を考慮した企画構成にしてほしい。

【葛飾街角スケッチ】

- ・ナレーションが聞き取りにくい箇所があった、文字などでの説明を加えてはどうか。
- ・テロップが短い時がある。また、難しい漢字には、ルビを振ってほしい。